

平成30年9月7日

平成30年北海道胆振東部地震の災害支援として、照明車を派遣します。

## 1. 内容

平成30年北海道胆振東部地震を受け、国土交通省中部地方整備局は、本省からの要請を受け、災害対策車両(照明車)の17台の派遣します。

5台については昨日、名古屋を出発し、残る12台が出発します。

このうち三重河川国道事務所からは、照明車2台とオペレーター2名を派遣します。事務所を出発し舞鶴港から、フェリーにて北海道小樽港に向かい、その後、陸路から被災地に近い苫小牧に参集する予定です。

出発に先立ち、三重河川国道事務所において出発式を行います。その際、照明車の操作デモンストレーションを行う予定です。

## 2. 出発式の開催

開催場所: 三重河川国道事務所 駐車場  
(三重県津市広明町297番地)

開催日時: 9月7日(金) 本日、15時30分

※出発式の模様の写真の提供が可能ですので、下記にお問い合わせください。

## 3. 照明車の派遣予定場所及び予定時間

派遣予定期間 : 平成30年9月7日(金) ~ 未定

活動内容 : 北海道胆振東部地方の災害支援に使用

4. 配布先 三重県政記者クラブ  
第二県政記者クラブ

5. 解 禁 指定なし

6. 問合せ先 国土交通省 三重河川国道事務所  
地域防災調整官 内藤 元弥  
防 災 課 長 大崎 圭司  
TEL 059-229-2211 (代表)

# 照 明 車

(2000w×6灯, 20m級)

災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。

災害復旧は、夜間や悪天候のなかでも行われます。視界の悪い状態では危険が伴い、作業にも支障をきたします。十分な明かりを確保し、安全で迅速に作業ができるように、復旧活動を照明車は支援します。



## ■特 徴

- 6階建てのビルの屋上と同じ高さから照らすことができます。
- 50m先で、新聞が読める程度の明るさがあります。
- 電源供給車としても使用できます。

## ■仕 様

車体寸法： 全長6.62×全幅2.06×全高3.25m

運転免許： 中型自動車免許

乗車定員： 2名

使用燃料： 軽油(タンク容量 100+110L)

駆動方式： 前後輪駆動

照明灯昇降装置： 伸縮式・屈曲式併用型

ブーム高さ： 20m

連続照明時間： 約26時間(給油1回分)



## ■主要装備品

電源設備： ティーセル発動発電機

220V 60Hz 25KVA

照明装置： メタルハライドランプ 2KW×6灯

その他： カメラ装置



国土交通省 中部地方整備局  
三重河川国道事務所

別紙

# 取材申し込み用紙

平成 年 月 日

1. 記者投げ込み案件

○ 平成30年北海道胆振東部地震の災害支援として、照明車を派遣します。

2. 取材日

平成 年 月 日

2. 申込者

会社名

取材記者名

車両台数

緊急連絡先

(当日、天候状況等により中止する場合の連絡先として教えてください。)

送り先 三重河川国道事務所 防災課  
防災課長 大崎 宛  
電話 059-229-2223  
FAX 059-229-2263